

令和3（2021）年度博士前期課程（一般選抜・秋期試験）問題 目次

外国語試験		ページ
英語・ドイツ語・フランス語・中国語		2～6
専門試験 ※令和3（2021）年度入試より「専門試験A・B」から「専門試験」になりました。		ページ
文化形態論	哲学哲学史	7～9
	現代思想文化学	—
	臨床哲学	10
	中国哲学	—
	インド学・仏教学	—
	日本学	11
	日本史学	12～19
	東洋史学	—
	西洋史学	20～22
	考古学	—
	人文地理学	23～25
文化表現論	日本文学	26～30
	比較文学	—
	中国文学	31～32
	英米文学	33～36
	ドイツ文学	37～38
	フランス文学	39～40
	国語学	—
	日本語学	41
	英語学	42～43
	美学	44～45
	文芸学	—
	音楽学	46～48
	演劇学	49～51
	日本・東洋美術史	52～55
	西洋美術史	56

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 英語

【問題用紙は1枚です。】

（1枚目／1枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典：Alberti, John and P. Andrew Miller, eds. *Transforming Harry: The Adaptation of Harry Potter in the Transmedia Age*. Detroit: Wayne State University Press, 2018. p.10 ll.29-36】

II. 次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典：Sapir, Edward. 1921. *Language: An Introduction to the Study of Speech* (p.1, No. 39-83). Kindle 版 一部省略】

III. 次の文章を英語に訳しなさい。

問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典：「老いの風景」八木義徳 （1998）『お父つつあんの冒険』文春文庫 p.304 ll.3~7 一部省略】

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 ドイツ語
[問題用紙は1枚です。]
（1枚目/1枚中）

問題1 つぎの下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[出典 *Tagesspiegel* (2020.5.1) 本文に変更を加えています。]

問題2 つぎの全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[出典 Friedrich, Markus: *Die Geburt des Archivs*. München 2013, S.12, Z.7-12. 本文に変更を加えています。]

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 フランス語
〔問題用紙は1枚です。〕

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

〔問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
<https://fr.news.yahoo.com/>, Franceinfo, 2020年8月15日, « Paris renforce ses mesures de protection face au Covid-19 »〕

注) port : 着用 communiqué : 公式発表

問2 次の文章を日本語に訳しなさい。

En effet, depuis quelque temps, plusieurs navires s'étaient rencontrés sur mer avec « une chose énorme », un objet long, fusiforme, parfois phosphorescent, infiniment plus vaste et plus rapide qu'une baleine.

Les faits relatifs à cette apparition, consignés aux divers livres de bord, s'accordaient assez exactement sur la structure de l'objet ou de l'être en question, la vitesse inouïe de ses mouvements, la puissance surprenante de sa locomotion, la vie particulière dont il semblait doué. Si c'était un cétacé, il surpassait en volume tous ceux que la science avait classés jusqu'alors.

注) fusiforme : 紡錘形の phosphorescent : 青白く光る consigner : 記録する

livre de bord : 公刊日誌 inouï : 驚くべき locomotion : 移動

cétacé : クジラ^{くじら}目の動物

〔出典 : Jules Verne, *Vingt mille Lieues sous les mers*, dans *Voyages extraordinaires*, éd. Jean-Luc Steinmetz *et al.*, Paris, Gallimard, « Pléiade », 2012, p. 732, l. 1-11.〕

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜
試験問題
外国語試験 中国語
[問題用紙は2枚です]

I 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

余華『許三觀売血記』人民文学出版社、2004年、頁1-2

問 1 下線部を拼音字母に改めよ。

問 2 全文を日本語に訳せ。

Ⅱ 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

弗萊著・陳慧等訳『批評的解剖』百花文芸出版社、2006 年、頁 4

問 1 下線部を拼音字母に改めよ。

問 2 全文を日本語に訳せ。

(1枚目/3枚中)

令和3(2021)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 哲学哲学史専門分野 専門試験

[問題用紙はこの用紙を含めて3枚あります。]

- 注意 ①解答はすべて添付の所定の解答用紙に記入すること
②問題用紙は持ち帰ること

(2 枚目/3 枚中)

I. 英語・独語のうち、外国語試験で受験しなかった外国語を選択し、日本語に全訳しなさい。

英語

The pragmatic rule is that the meaning of a concept may always be found, if not in some sensible particular which it directly designates, then in some particular difference in the course of human experience which its being true will make. Test every concept by the question "What sensible difference to anybody will its truth make?" and you are in the best possible position for understanding what it means and for discussing its importance. If, questioning whether a certain concept be true or false, you can think of absolutely nothing that would practically differ in the two cases, you may assume that the alternative is meaningless and that your concept is no distinct idea. If two concepts lead you to infer the same particular consequence, then you may assume that they embody the same meaning under different names.

(William James, *Some Problems of Philosophy*, Harvard University Press, 1979, p. 37, l. 17-29.)

独語

Zunächst wird man in der Philosophie die Wissenschaft sehen, die das G a n z e der Welt zu ihrem Gegenstand macht. Irgendeine Disziplin muß sich diese universale Aufgabe stellen, und nur die Philosophie kann es tun. Der Umstand, daß heute das Weltall an die Einzelwissenschaften aufgeteilt zu sein scheint, ändert daran nichts. Jede von ihnen behandelt ihrem Begriff nach nur einen Teil der Welt, und das Ganze ist etwas anderes als die bloße Aneinanderreihung seiner Teile. Die Philosophie behält also unter allen Umständen eine selbständige Aufgabe: sie hat Begriffe für das Weltall zu entwickeln, so daß dieses sich in ihnen als eine Einheit darstellt. Das ist immer ihre Aufgabe gewesen und wird ihre Aufgabe bleiben. Irgendwelche partiellen Bestrebungen verdienen den Namen der Philosophie nicht.

Doch hiermit kommt die universale Tendenz noch nicht vollständig zum Ausdruck.

(Heinrich Rickert, *Die Philosophie des Lebens*, J. C. B. Mohr, 1922, S. 13, Z. 5-19.)

(3 枚目／3 枚中)

II. 思考と言語の関係について論じなさい。

III. 以下の術語の中から、2 項目を選択し、その番号を記した上で 3 行程度で説明しなさい。

1. 発語内行為
2. 翻訳の不確定性
3. 充足理由律
4. 悪の凡庸さ
5. アタラクシア

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 臨床哲学専門分野 専門試験

[問題用紙が1枚・添付資料が4枚、全部で5枚です]

問題1 次のA～Eの中から2つを選び、簡潔に論じなさい。

- A. 「労働 labor/work」の意味について、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- B. 「依存」をめぐる問題について、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- C. 尊厳死・安楽死・自殺幫助をめぐる異なるいくつかの考え方について、論じなさい。
- D. 現代社会におけるジェンダー規範に関する問題について、具体的な事象をあげながら論じなさい。
- E. 現代において多様化・流動化する「アイデンティティ」について、論じなさい。

問題2 臨床哲学では、既存の社会常識や研究分野の枠組みにとらわれず、人々の「生」に即して考えることを目指しています。資料の文章は、ルポライターである「僕」が、18年間連れ添った「お妻様」との生活について書かれた本の一節（最終章：なぜお妻様を治療しないのか）である。これを読んで、自ら「問い」を立てた上で、あなたの考えを展開しなさい。

資料は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。
鈴木大介『されど愛しきお妻様』講談社、2018年194頁1行～200頁12行

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 日本学専門分野 専門試験

〔問題用紙は1枚です。〕

〔Ⅰ〕次の項目から、4項目を選んで説明しなさい。

- (1) 荻生徂徠 (2) 福沢諭吉 (3) 原水爆禁止運動 (4) 「村山談話」 (5) 阪神教育闘争
(6) 「逆コース」 (7) 国民所得倍増計画 (8) 難民条約 (9) 『ああ野麦峠』
(10) リブ新宿センター (11) 新井光子（八島光） (12) 「産めよ、殖やせよ」

〔Ⅱ〕次の4問のうちの2つを選んで答えなさい。

- (1) 近世日本の朱子学者の著作を1点取り上げ、その意義について論じなさい。
(2) 人種主義と優生思想との関係について、歴史的な時期区分を用いながら説明しなさい。
(3) 日本の検閲制度について、歴史的に論じなさい。
(4) 冷戦の終結が東アジア諸国の文化に及ぼした影響について、具体例を複数あげながら論じなさい。

(一枚目／八枚中)

令和三(二〇二一)年度

大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 日本史学専門分野 専門試験

【注意】問題用紙は全部で八枚あります。解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(Ⅰ) 次の問いに答えなさい。

[45点]

古代・中世・近世・近現代のそれぞれの時代における地方政治と中央政府の関係について、具体的に述べなさい。

(Ⅱ) 次の歴史的名辞(1)～(4)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえつつ説明しなさい。

[30点]

(1) 郡評論争

(2) 寧波の乱

(3) 光格天皇

(4) 激化事件

(問題文は次に続く)

(二枚目／八枚中)

(Ⅲ) 次の設問 (1) ～ (4) のうち、二つを選んで答えなさい。

[50点]

(1) 次の史料は、黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補国史大系 22 律・令義解』(完成記念版、吉川弘文館、一九六六年)からの引用である。『令義解』軍防令応加転条を読んで、①②の問いに答えなさい。なお、頭注は気にしなくてよい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補国史大系 22 律・令義解』(完成記念版、吉川弘文館、一九六六年) 一九一頁】

① 全ての注釈部分(細字双行)を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしてください。その際、漢字は旧字体ではなく、新字体に改めること。

② 注釈部分(細字双行)もふまえ、本条の定める叙勲の仕方について説明してください。

(問題文は次に続く)

(三枚目／八枚中)

(2)

次の史料は、宮内庁書陵部編『圖書寮叢刊 九条家本玉葉 十』(明治書院、二〇〇五年) 一一七頁からの引用である。『玉葉』文治二年(一一八六)閏七月二日条を読んで、①、

④の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【宮内庁書陵部編『圖書寮叢刊 九条家本玉葉 十』(明治書院、二〇〇五年) 一一七頁】

①傍線 a を現代語訳しなさい。

②傍線 b を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

③傍線 c を現代語訳しなさい。

④傍線 d の「朝敵」とは誰のことを指しているか。史料中の人名で答えなさい

(問題文は次に続く)

(四枚目／八枚中)

(3) 次の史料は、宮川葉子校訂『史料纂集 楽只堂年録』第六(八木書店、二〇一七年)の宝永二年(一七〇五)七月一三日条の一部であり、徳川綱吉と柳沢吉保との間で交わされたやりとりについて記された箇所である。この史料を読んで、①②の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【宮川葉子校訂『史料纂集 楽只堂年録』第六(八木書店、二〇一七年)七〇～七一頁】

- ①この史料の傍線部を正確に現代語訳しなさい。
- ②この史料において、綱吉から示された「御懇の上意」に対し、吉保は礼を述べた後、かねて心の内で願っていたという「三の品」を綱吉に願い出て、許されている。吉保が綱吉に願い出た「三の品」の内容を史料の内容にそくして具体的に説明しなさい。

(問題文は次に続く)

(4) 次の史料は、日露戦争の講和に関する基本方針を決定した元老會議及び閣議について述べた、『明治天皇紀』明治三十八年(一九〇五)四月二一日条の一節である。この史料を読んで、①④の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

内閣総理大臣伯爵桂太郎、外務大臣男爵小村寿太郎と俱に天皇に御座所に謁し、日露講和条件に関する元老會議及び閣議の結果を奏す、日露開戦以来我が軍毎戦捷を報ぜりと雖も、時を閱すること一歳余、外には堅忍持久を称するも、内には兵力乏しく、財政亦窮し、朝野和平を思ふの情漸く切なるものあり、太郎は去る十七日此の事を以て寿太郎及び海軍大臣男爵山本権兵衛・陸軍大臣寺内正毅に謀る(中略)十九日太郎は枢密院議長侯爵伊藤博文・参謀総長侯爵山県有朋・枢密顧問官伯爵松方正義・伯爵井上馨の各元老及び権兵衛・寿太郎・正毅を招集し、更に此の事を商議す、博文意見を述ぶる所あり、衆論略々一致す、是に於て是の日太郎は閣議を其の官舎に開き、以て此の事を諮議す、閣僚亦皆異論なきを以て、即日寿太郎と其の議を齎して進謁上奏せるなり、抑々我の一国存亡を賭して兵を露国に構へたるもの、其の目的、満韓を保全し、極東永遠の平和を確保するに在り、乃ち自衛のために起てるもの、其の目的にして達せられざらんか、他日再び露国のために侵迫せらるゝことあるや必せり、是に於てか閣議必須条件三事を議決す、一、極東平和の最大禍根たる韓国を以て全然我の自由処分に委するを約せしむること、二、我の従来主張せる満洲保全の趣旨に基づき、露国軍をして一定期間内に同地より退去せしむること、之れと同時に我の其の地より撤兵すること亦勿論なり、三、旅順・大連の経営と東清鉄道哈爾濱支線とは、露国の以て威力を南満洲に振ひ、進みて韓国を恐嚇するに至れる侵略の武器たり、故に遼東半島租借権と該鉄道支線とを併せて我に収め、以て将来の禍根を杜絶することは是れなり、此の三事は戦争の目的を達し、永遠に我が地位を保障するため、絶対必要の条件にして、極力貫徹に努めざるべからず、而して更に戦争に附帯して生じ、若しくは我が利権拡張のために必要な条件にして、必成を期するにはあらずるも、事情の許す限り勉めて貫徹を図るべきものあり、乃ち条件四事を議定す、一、軍費を賠償せしむること、二、戦闘の結果中立港に奔竄せる敵の艦艇を我に交附せしむること、三、サガレン及び其の附近諸島を割讓せしむること、四、沿海州沿岸に於ける漁業権を我に附与せしむること是れなり、是れ等諸条件は今後戦局の如何に因りて変更するを免れざるのみならず、我が軍連戦連捷の功を奏せりと雖も、未だ以て敵の死命を制する能はざる今日の形勢に於ては、是れ等要求すら之れを容れしむるは容易の事にあらずるなり(宮内庁著『明治天皇紀』第十一、吉川弘文館、一九七五年、一二八～一三〇頁)

- ①傍線aに記された戦争目的は、日露戦争の宣戦の詔勅に記された内容とは異なる。その相違点について知るところを述べなさい。
- ②傍線bに関連して、「絶対必要の条件」の内容を史料の記述に即して正確にまとめなさい。
- ③傍線cに関連して、賠償金を「条件四事」に入れたことから読み取れることを記しなさい。
- ④傍線dの「サガレン」に関連して、幕末から日露戦争に至るまでの樺太をめぐる日露関係の展開について知るところを述べなさい。

(問題文は次に続く)

(六枚目／八枚中)

(Ⅳ) 次の設問(1)～(3)のうち、一つを選んで答えなさい。

[25点]

(1) 次の古文書を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【京都府立総合資料館歴史資料課編『第十六回東寺百合文書展 古文書の様式』(京都府立総合資料館、一九九九年)一六頁所収 享徳二(一三二七)年十二月一四日「後醍醐天皇綸旨」】

(七枚目／八枚中)

(2) 次の古文書の見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【史籍研究會編『内閣文庫所藏史籍叢刊 第85巻 諸事留(一)』(汲古書院、一九八八年) 二八二～二八三頁所収 「寛政元酉年 奥醫師江」】

(問題文は次に続く)

(八枚目／八枚中)

(3) 次の史料は、総選挙中の一八九四年八月七日に、貴族院議員小室信夫が郷里である丹後の稲葉宅蔵に送った書簡である。この史料の「」で囲んだ部分について、見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、本文の内容は日清戦争期の国政に関する書簡です。

令和3（2021）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

文化形態論専攻 西洋史学専門分野 専門試験

〔問題用紙は3枚です。〕

注意 解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝間の記号や番号も記すこと。

設問1. ①～③から1問を選択し、解答しなさい。

① 新型コロナ（COVID-19）の蔓延によって、歴史的なパンデミックに注目が集まっているが、残念ながらパンデミックに関する歴史的事実の濫用や誤用が広くみられる。ペスト、天然痘、コレラ、スペイン風邪などのパンデミックの具体例を一つ取り上げて、その感染状況や歴史的影響について論じなさい。

② ヨーロッパには、ローマ時代以来、今日まで共和政を冠する様々な国家が現れた。これについて二つの事例を挙げ、両者を比較しながらそれぞれの特質を論じなさい。

③ アフリカ、アメリカ、ヨーロッパを結ぶ奴隷貿易が欧米の国家や社会に及ぼした影響について論じなさい。

設問2. ①～⑥の語句のなかから2つを選択し、説明しなさい。

① バルバロイ

② ジャック・ル＝ゴフ

③ 宗派化

④ 植物帝国主義

⑤ パブリック・ヒストリー

⑥ 新自由主義

設問3. 以下の文章は、Judd, Barry, "Research Reflections: Racism in Australian Football - White Australian RULES!" *Indigenous Law Bulletin*, Vol.7, Issue 20 (2010), pp.3-4 からの抜粋である。この文章を読み、(1)～(3)に日本語で解答しなさい。

- (1) 著者のオーストラリア先住民とオーストラリア・フットボールの関係に対する研究上の関心はどのように移り変わってきたのか、要約して述べなさい。
- (2) 下線部を日本語に訳しなさい。
- (3) 著者によれば、オーストラリア・フットボールのクラブのスカウトが先住民の選手を選抜する動機はどのようなものか、要約して述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Judd, Barry, "Research Reflections: Racism in Australian Football - White Australian RULES!" *Indigenous Law Bulletin*, Vol.7, Issue 20 (2010), pp.3-4.

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 人文地理学専門分野 専門試験

[問題用紙は3枚です]

(1枚目／3枚中)

(※ 中辞典程度の英語辞書の持込みを可とする。電子辞書は使用不可。)

以下の問い（問1～問4）に答えなさい。解答は、問題番号とともに解答用紙に記入のこと。

問1

次の(a)～(d)の研究者の中から1人を選んで、その人生の概略と、学界における研究成果について具体的な文献も挙げて解説しなさい。なお、選んだ人名を明記すること。

(a) ピーター・ハゲット

(b) イーファー・トゥアン

(c) ブライアン・ベリー

(d) ジョン C. ウィーバー

問2

次の(a)～(f)は、地理学に関連する研究テーマまたは対象を挙げたものである。これらの中から1つを選んで解説しなさい。その際に、関連する研究者の氏名と業績にも言及すること。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

(a) 三圃制

(b) ネットワーク分析

(c) 反都市化

(d) カルチュラル・ターン

(e) スtock効果

(f) 空間編成理論

問3

次の(a)～(d)の問いの中から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

(a) スーパー・メガリージョン構想の概要と課題について論じなさい。

(b) 架橋効果に関する研究について、その種別と各々の課題について論じなさい。

(c) 中国の一国二制度に関して、香港の経済的特性の影響について論じなさい。

(d) 乾燥地域における緑化事業の効果と問題点について論じなさい。

(2枚目／3枚中)

問 4

次の英語の文章は、ある文献の一部分を抜粋したものである（一部改変）。この文章を読んで、下の問い（問ア～問イ）に答えなさい。

※ 掲載の英語の文章は、著者の著作権などに配慮し、省略します。なお、出典情報は次の通りです。

Yuchen Li and Yichun Xie (2018) "A New Urban Typology Model Adapting Data Mining Analytics to Examine Dominant Trajectories of Neighborhood Change: A Case of Metro Detroit," *Annals of the American Association of Geographers* 108(5), p.1314 左段第2段落～右段第1段落より引用。引用文中の書誌情報掲載部分などは省略。問ア関連部分（「枠で囲われた部分」）は同ページ左段第2段落。引用文中のイタリック表記は通常体にして表示。

(3 枚目／3 枚中)

問ア

枠で囲われた部分の英文を全文和訳しなさい。

問イ

下線部について、ここで挙げられている五つの問いのほかに、必要と思われる研究課題を二つ挙げて、その理由について説明しなさい。

- 一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

宮、れいのしのびておはしまいたり。女、さしもやはとおもふうちに、日ごろのおこなひに困^まじてうちまどろみたるほどに、門をたたくに、聞きつくる人もなし。聞しめすことどもあれば、人のあるにやとおぼしめして、やをら帰らせ給ひて、つとめて

「A開けざりしまきの戸ぐちにたちながらつらき心のためしとぞ見し

うきはこれにやと思ふもあはれになん」とあり。よべおはしましけるなめりかし、心もなくねにける物かなと思ふ。御返

Bいかでかはまきの戸ぐちをさしながらつらき心のありなしを見ん

みけはぬあつうをたふと
とありともいふまはなれ
あはれあつうをたふと
こはらう大敵者あつう
うめはらうあつう
けしうあつう

(『和泉式部日記』)

- 問一 傍線部1について、「さしもやは」「おこなひ」の内容を明確にして現代語訳しなさい。
- 問二 傍線部2について、主語を明示し、「人のあるにや」がどのような状況を想定しているかを明確にして、現代語訳しなさい。
- 問三 Aの和歌を、現代語訳しなさい。
- 問四 Bの和歌を詠んだ心情について、和歌表現に即して説明しなさい。
- 問五 画像になっている六行分を正確に翻刻しなさい。

〔二〕次の資料は、本居宣長『古今集遠鏡』（寛政九年（一七九七）刊行）の一部である。この書の冒頭に「此書は、古今集の哥どもを、ことごとくいまの世の俗語に訳せる也」と記されていることをふまえ、次の（A）（B）を読んで後の問いに答えなさい。

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

（A）

○俗言は、かの国この里と、ことなることおほきが中には、みやびごとにかきもあれども、かたよれるるなかのことば、あまねくよもにはわたしがたければ、かゝることにとり用ひがたし、大かたは京わたりの詞して、うつすべきわざ也、たゞし京のにも、えりすつべきは有て、なべてはとりがたし、

○俗言にも、しなぐのある中に、あまりいやしき、又たはれすぎたる、又時々のいまめきことばなどは、はぶくべし、又うるはしくもてつけていふと、うちとけたるとのたがひあるを、哥はことに思ふ情のあるやうのまゝに、ながめ出たる物なれば、そのうちとけたる詞して、訳すべき也、

うちとけたるは、心のまゝにいひ出たる物にて、みやびごとのいきほひに、いますこしよくあたればぞかし、又男のより、をうな（女）の詞は、ことにうちとけたることの多くて、心に思ふすぢの、ふとあらはなるものなれば、哥のいきほひに、よくかなへることおほかれば、をうなめきたるをも、つかふべきなり、又はゆるかたことをも用ふべし、たとへばおのがことを、うるはしくはわたくしといふを、はぶきてつねに、ワタシともワシともいひ、ワシハといふべきを、ワシヤ、それはをソレーヤ、すればをスレーヤといふたぐひ、又そのやうなこのやうなを、ソナコンナといひ、ならばたらばを、ばをはぶきて、ナラタラ、さうしてをソシテ、よからうをヨカロ、とやうにいふたぐひ、ことにうちとけたることなるを、これはたいきほひにしたがひては、中々にうるはしくいふよりは、ちかくあたりて聞ゆるふしおほければなり、

(B)

春のはじめのうた

みふのたぐみね

春きぬと人はいへどもうぐひすのなかぬかぎりはあらじとぞ思ふ

○春ガキタト人ハ云ケレドモ マダ鶯ガナカヌ ナンデモ鶯ノナカヌウ
チハイツマデモ オレハ春デハアルマイトッ思ウ

問一 (A) によると、この書の「俗語」^{サトリゴト}とはどのような位相の日本語か、五行程度を目安に簡潔に説明しなさい。

問二 (B) のカタカナで書かれている「俗語」から、古典語に見られない用法の助詞または助動詞を一語選び、歴史的な変遷を説明しなさい。なお傍線は、歌にない語句を訳者が補った箇所であることを示しています。

問三 (A) (B) を読んで自分なりに国語学上の仮説を一つ立て、その仮説を検証するための調査方法ができるだけ具体的に記しなさい。ただし仮説は、問二で取り上げたものと重複しないテーマを選ぶこと。

次の文章は、岡本かの子の小説『東海道五十三次』の一部です。これを読んで、後の問いに答えなさい。
(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

『引用は『岡本かの子全集 第四巻』(冬樹社、一九七四) 四五―五〇頁』
(四枚目/五枚中)

風俗史専攻の主人が、殊に昔の旅行の風俗や習慣に興味を向けて、東海道の探査の足を踏み出したのはまだ大正も初めの一高の生徒時代だったといふ。私はその時分のことは知らないが大正時代の主人が屢々そこへ行くことは確に見てゐたし、一度などは私も一緒に連れて行つて貰つた。念の爲め主人と私の關係を話して置くと、私の父は幼時に維新の勿駭を越えて來たアマチュアの有職故實家であつたが、斯道に熱心で、研究の手傳けのため一人娘の私に繪畫を習はせた。私は十六七の頃にはもう濃く墨水をひいた薄美濃紙を宛てがつて繪巻物の斷片を臚き寫しすることも出來たし、殘存の兜の綴を、比較を間違へず寫生することも出來た。だが、自分の獨創で何か一枚畫を描いてみようとなるとそれは出來なかつた。

主人は父の邸へ出入りする唯一の青年といつてよかつた。他に父が交際してゐる人も無いことはなかつたが、みな中年以上か老人であつた。その頃は「成功」なぞといふ言葉が特に取出されて流行し、娘たちはハイカラ鬘といふ洋髪を結つてゐる時代で蟲食ひの圖書道品を漁るといふのはよく／＼向きの變つた青年に違ひなかつた。けれども父は

「近頃、珍らしい感心な青年だ」と褒めた。

主人は地方の零落した舊家の三男で、學途には就いたものの、學費の半以上は自分で都合しなければならなかつた。主人は、好きな道を役立てゝ歌舞伎の小道具方の相談相手になり、デパートの飾人形の衣裳を考證してやつたり、それ等から得る多少の報酬で學費を補つてゐた。かなり生活は苦しさうだつたが、服裝はきちんとした。

「折角の學問の才を切れ端にして使ひ散らさないやうに――」

と始終忠告してゐた父が、その實意からしても死ぬ少し前、主人を養子に引取つて永年苦心の蒐集品と、助手の私を主人に譲つたのは道理である。

私が主人に連れられて東海道を始めてみたのは結婚の相談が纏まつて間もない頃である。

今まで友だちも附合ひの青年を、急に夫として眺めることは少し窮屈で操はゆい氣もしたが、私には前から幾分さういふ豫感が無いわけでもなかつた。狭い職分や交際範圍の中に同じやうな空氣を呼吸して來た若い男女が、どのみち一組になりさうなことは池の中の魚のやうに本能的に感じられるものである。私は照れるやうなこともなく言葉もさう改めず、この旅でも、たゞ身のまはりの世話ぐらゐは少し遠慮を除けてあげてくれるものであつた。

私たちは静岡縣で夜行汽車を降りた。すぐ驛の俥を雇つて町中を曳かれて行くと、ほの／＼明けの霧の中から大きな山葵漬の看板や鯛の／＼の看板がの／＼と額の上に現はれて來る。旅慣れない私はこゝろの彈む思ひがあつた。

まだ、戸の閉つてゐる二軒のあべ川餅屋の前を通ると直ぐ川瀬の音に狹霧を立てゝ阿倍川が流れてゐる。轍に踏まれて躍る橋板の上を曳かれて行くと、夜行で疲不足の臉が涼しく拭はれる氣持がする。

町ともつかず村ともつかない鄙びた家並がある。こゝは重衡の東下りのとき、鎌倉で重衡に愛された遊女千手の前の生れた手越の里だといふ。重衡、斬られて後、千手は尼となつて善光寺に入り、歿したときは二十四歳。かういふ由緒を簡単に、主人は前の俥から話し送つて呉れる。さういへば山門を向き合つて雙方、名灸所と札をかけてゐる寺など何となく古雅なものに見られるやうな氣がして來た私は、氣を利かして距離を縮めてゆく／＼走つて呉れる俥の上から訊く。

「むかしの遊女はよく貞操的な戀愛をしたんですね」

「みんなが、みんなさうでもあるまいが、――その時分に貴賓の前に出るやうな遊女になると相當生活の獨立性が保てたし、一つは年齢の若い遊女にさういふロマンスが多いですね」

「ぢや、千手もまだ重衡の薄倖な運命に同情できるみづ／＼しい情緒のある年頃だつたといふわけね」
「それにね、當時の鎌倉といふものは新興都市には違ひないが、何といつても田舎で文化に就ては何かと京都をあこがれてゐる。三代の實朝時代になつてもまだそんなふうだつたから、この時代の鎌倉の千手の前が都會風の洗練された若い公達に會つて參つたのだらうし、多少はさういふ公達を戀の目標にすることに自身誇りを感じたのぢやないでせうか」

私はもう一度、何となく手越の里を振返つた。

私と主人はかういふ情愛に關係する話はお互ひの間は勿論、現代の出來事を話題としても決して話したこととはない。さういふことに觸れるのは私たちのやうな好古家の古典的な家庭の空氣を吸つて來たものに取つて、生々しくて、或る程度の嫌味にさへ感じた。たゞ歴史の事柄を通しては、かういふ風にたまには語り合

ふことはあつた。それが二人の間に幾らか温かい親しみを感じさせた。

如何にも街道といふ感じのする古木の松並木が濃く。それが盡きるとはつと明るくなつて、丸い丘が幾つも在る間の開けた田畑の中の道を俵は速力を出した。小さい流れに板橋の架かつてゐる橋のたもと、右側に茶店風の薬屋の前で俵は梶棒を卸した。

「はい。丸子へ参りました」

なるほど俵子に名物とろゝ汁、と書いてある。

「腹が減つたでせう。ちよつと待つてらつしやい」

さういつて主人は俵子を開けて中へ入つた。

それは多分、四月も末か、五月に入つたとしたら、まだいくらか経たない時分と記憶する。

静岡邊は暖かいからといふので私は薄着の綿入れで寫生帳とコートは手に持つてゐた。そこら邊りにやし、はの花が鮮に咲き、丸味のある丘には一面茶の木が鶯餅を並べたやうに萌黄の新芽で装はれ、大氣の中にまではの／＼とした匂ひを漂はしてゐた。

私たちは奥座敷といつても奈良漬色の畳にがた／＼俵子の嵌つてゐる部屋で永い間とろゝ汁が出来るのを待たされた。少し細目に開けた俵子の隙間から畑を越して平凡な裏山が覗かれる。老鶯が鳴く。丸子の宿の名物とろゝ汁の店といつてももうそれを食べる人は少ないので、店はたゞの腰掛け飯屋になつてゐるらしく耕地測量の一行らしい器械を携へた三四名と、表に馬を繋いだ馬子とが、消し残しの朝の電燈の下で高笑ひを混へながら食事をしてゐる。

主人は私に退屈させまいとして懷から東海道分間圖繪を出して頁をへぐつて説明して呉れたりした。地圖と鳥瞰圖の合の子のやうなもので、平面的に書き込んである里程や距離を胸に入れながら、自分の立つ位置から右に左に見ゆる見當のまゝ、山や神社佛閣や城が、およそその見ゆる形に側面の略圖を描いてある。勿論、改良美濃紙の複製本であつたが、原圖の菱川師宣のあの暢暢で素雅な趣はちり／＼味へた。しかし、自然の實感といふものは全くなかつた。

「昔の人間は必要から直接に發明したから、こんな便利で面白いものが出来たんですね。つまり觀念的な理窟に義理立てしなかつたから——今でもかういふものを作つたら便利だと思ふんだが」

はじめ、かなり私への心遣ひで話しかけてゐるつもりでも、いつの間にか自分獨りだけで古典思慕に入り込んだ獨り言になつてゐる。好古家の學者に有り勝ちなこの癖を始終私は父に見てゐるのであまり怪しまなかつたけれども、二人で始めての旅で、殊にかういふ場所で待たされつゝあるときの相手の態度としては、寂しいものがあつた。私は氣を紛らす爲めに俵子を少し開けひろげた。

午前の陽は流石に眩しく美しかつた。老婢が「とろゝ汁が出来ました」と運んで來た。別に變つた作り方でもなかつたが、炊き立ての麥飯の香ばしい湯氣に神仙の土のやうな匂ひのする自然薯は落ち付いたおいしさがあつた。私は香りを消さぬやうに藥味の青海苔を撒らずに碗を重ねた。

主人は給仕をする老婢に「皆川老人は」「ふじのや連は」「齒磨き屋は」「彦七は」と妙なことを訊き出した。老婢はそれに對して、消息を知つてゐるものもあるし知らないものもあつた。話の樣子では、この街道を通りつきの諸職業の旅人であるらしかつた。主人が「作樂井さんは」と訊くと

「あら、いま、さががた、この前を通つて行かれました。あなた等も峠へかゝられるなら、どこかでお逢ひになりませう」

と答へた。主人は

「峠へかゝるにはかゝるが、廻り道をするから——なに、それに別に會ひ度いといふわけでもないし」と話を打ち切つた。

私たちが店を出るときに、主人は私に「この東海道には東海道人種とでも名付くべき面白い人間が澤山あるんですよ」と説明を補足した。

問一 傍線部①「道理である」とは、この場合どういふことか。また、このように表現したことには、語り手のどのような心情が想定されるか、説明しなさい。

問二 傍線部②「それが二人の間に幾らか温かい親しみを感じさせた」のはなぜか、わかりやすく説明しなさい。

問三 あなたがこの作品(さしあたり引用部分まで)を考察するとしたら、どのような点に着眼して分析しますか。理由と共に説明しなさい。

問四 岡本かの子という作家は、文学史上のどのような事項と接点を持つか、説明しなさい。

令和三（二〇二一）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 中国文学専門分野 専門試験

〔問題用紙は二枚です〕

I 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

澹齋居士詩序

詩首國風無非變者雖周公之幽亦變也蓋
人之情悲憤積於中而無言始發爲詩不然
無詩矣蘇武李陵陶潛謝靈運杜甫李白激
於不能自己故其詩爲百代法 國朝林逋
魏野以布衣死梅堯臣石延年棄不用蘇舜
欽黃庭堅以廢紕死近時江西名家者例以
黨籍禁錮乃有才名蓋詩之興本如是紹興
間秦丞相檜用事動以語言罪士大夫士氣
抑而不伸大抵竊寓於詩亦多不免若澹齋
居士陳公德召者故與秦公有學校舊自揣
必不合因不復與相聞退以文章自娛詩尤
中律呂不怨不怒而憤世疾邪之氣凜然不
少回撓其不坐此得禍亦僅脫爾及秦氏廢
始稍起爲吏部郎爲國子司業祕書少監遽
没于官後四十餘年有子知津爲高安守最
其詩得三卷屬某爲序某少識公於山陰方
公召還嘗以詩贈別及公爲郎時故相湯岐
公一日語公曰陸務觀別君詩方傳世非公
之賢何以發其語如此時紹興已外歲也因
高安之請重以感歎某於是年八十有一矣
開禧元年九月太中大夫寶謨閣待制致仕
山陰縣開國子食邑五百戶賜紫金魚袋陸
某序

問一 全文を日本語訳せよ。

問二 右の文章に述べられている文学観について自由に論ぜよ。

II 次の詩を読んで後の問いに答えよ。

跋丘宗卿侍郎見贈使北詩一軸

太行界天二千里清晨跳入寒窓底黃河動地万
岳雷却與太行相起來青崖顛狂白波怒老夫驚
倒立不住乃是丘遲出塞敎贈我大軸出塞詩手
持漢節妮秋月弓挂天山鳴積雪過故東京到北
京淚滴禾黍枯不生誓取胡頭為飲器盡興遺民
解髻髻詩中哀怨訴阿誰河水鳴咽山風悲中原

万象聽驅使紛隨詩句畝行李君不見晉人王右
軍龍跳虎卧筆有神何曾我得一句子自哦自寫
傳世八君不見唐人杜子美万草千花句何綺祇
以詩傳字不傳却羨別人雲落紙莫道丘遲一軸
詩此詩此字絕世奇再三莫遣鬼神知鬼神知了
偷却伊

問一 押韻について、すべての韻字をあげながら説明せよ。

問二 全文を日本語訳せよ。

III 中国文学における「国家と個人」について、考えるところを自由に述べよ。

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 英米文学専門分野 専門試験

[問題用紙は4枚あります]

★ 一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

1. 次の英文を読んで、author をめぐる議論を要約し、またそれに対してどのように考えるか日本語で論述しなさい。

問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典】Murray, Simone. *The Adaptation Industry: The Cultural Economy of Contemporary Literary Adaptation*. Routledge, 2012. p.29 l.1～p.30 l.10, p.196n6.

2. 次の詩を読んで、下の設問に答えなさい。

問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

- (1) この詩の第3連 [3] を日本語に訳しなさい。
- (2) 詩のモチーフ、フォーム（形式）を含め、この詩全体を評釈しなさい。

【出典】Williams Morris, 'A Garden by the Sea' *MacMillan Anthologies of English Literature: The Nineteenth Century (1798-1900)*, ed. Brian Martin (MacMillan, 1989), p. 543, ll. 1-32.

3. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

- (1) この物語の作者と作品名をそれぞれ英語で答えなさい。
- (2) 下線部（イ）を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部（ロ）を日本語に訳しなさい。
- (4) 語り手が誰かを指摘し、その言動をふまえ、この作品の語りの特質と物語的状況を100～150語程度の英語で説明しなさい。

【出典：Emily Brontë, *Wuthering Heights*. 1847. Penguin, 1995. p.3 l.1-p.4. l.15】

4. 次の日本語を英語に訳しなさい。

問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典】大森一輝.『アフリカ系アメリカ人という困難 奴隷解放後の黒人知識人と「人種」』. 彩流社. p.194, ll.7-10.

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 ドイツ文学専門分野 専門試験
[問題用紙は、2枚です。]
（1枚目／2枚中）

問題1 以下の全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[出典 Mendivil, Julio: *Ein musikalisches Stück Heimat. Ethnologische Beobachtungen zum deutschen Schlager*. Bielefeld 2008, S.19, Z.4-9.]

問題2 次のドイツ語文を読んで以下の設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[出典 Wurster, Gaby (hg.): *Triest. Eine literarische Einladung*. Berlin 2009, S.42, Z.3-20.本文に変更を加えています。]

(2 枚目／2 枚中)

設問 1 下線部(a)について、誰がなににたいして、なぜ Widerwillen を感じるのか、分かりやすく述べなさい。

設問 2 下線部(b)を日本語に訳しなさい。

問題 3 ドイツ文学史・文化史にかかわる以下の事項から 2 つを選び、具体的な著作や著者を挙げながら、日本語で説明しなさい (それぞれ 250 字程度)。

- 1) Kinder- und Jugendliteratur 2) Weimarer Klassik 3) Zürich
- 4) Volksmärchen 5) Neuhochdeutsch 6) Kriegsliteratur
- 7) Österreichisch-Ungarische Doppelmonarchie

問題 4 以下のテーマからひとつを選び、ドイツ語で自由に論じなさい (200 語程度)。

- 1) Bibliothek 2) Beruf 3) Krankheit

令和3（2021）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 フランス文学専門分野 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

À Julie.

Il faut vous fuir, Mademoiselle, je le sens bien : j'aurais dû beaucoup moins attendre, ou plutôt il fallait ne vous voir jamais. Mais que faire aujourd'hui ? Comment m'y prendre ? Vous m'avez promis de l'amitié ; voyez mes perplexités, et conseillez-moi.

Vous savez que je ne suis entré dans votre maison que sur l'invitation de Madame votre mère. Sachant que j'avais cultivé quelques talents agréables, elle a cru qu'ils ne seraient pas inutiles, dans un lieu dépourvu de maîtres, à l'éducation d'une fille qu'elle adore. Fier, à mon tour, d'orner de quelques fleurs un si beau naturel, j'osai me charger de ce dangereux soin sans en prévoir le péril, ou du moins sans le redouter. Je ne vous dirai point que je commence à payer le prix de ma témérité : j'espère que je ne m'oublierai jamais jusqu'à vous tenir des discours qu'il ne vous convient pas d'entendre, et manquer au respect que je dois à vos mœurs, encore plus qu'à votre naissance et à vos charmes. Si je souffre, j'ai du moins la consolation de souffrir seul, et je ne voudrais pas d'un bonheur qui pût coûter au vôtre.

注) s'y prendre : 行動する、ふるまう s'oublier : 自制心をなくす
tenir un discours à qn. : ～に話をする mœurs : 品行
coûter à... : ～に苦痛を与える

【出典: Jean-Jacques Rousseau, *Julie ou La Nouvelle Héloïse*, dans *Œuvres complètes*, II, éd. Bernard Gagnebin et Marcel Raymond, Paris, Gallimard, « Pléiade », 1964, p. 31, l. 3-23 (綴りは現代表記に直した)】

問2 次のA～Fの人名または用語から2つを選び、それぞれについて3～5行程度の日本語で説明しなさい。

A. Absurde

B. Chanson de Geste

C. Les libertins

D. Montesquieu

E. Pierre de Ronsard

F. Emile Zola

問3 次の問にフランス語で答えなさい。

Présentez le sujet de recherches que vous voulez étudier en master.

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 日本語学専門分野 専門試験

〔問題用紙は3枚あります。〕

〔1〕 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

岡本夏木（1985）『ことばと発達』（岩波新書）1985年82頁6行目～86頁14行目

- 問1 傍線部（a）とはどのようなことをいうのか。具体例をあげつつ、言語学の用語を用いて説明しなさい。
- 問2 傍線部（b）とは具体的にどのようなことをいうのか。「主観性」「間主観的機能」の意味するところに言及しつつ、本文にそってわかりやすく説明しなさい。
- 問3 傍線部（c）について、幼児や低学年の児童は現実生活の中でどのようにして言語的意味を身につけていくのか、考えるところを自由に論じなさい。

〔2〕 次の10項目のなかから5項目を選んで、各項目5から10行程度で、説明しなさい。

- （1）動名詞（Verbal Noun）
- （2）複合動詞
- （3）語種
- （4）『分類語彙表』
- （5）合拗音
- （6）フィラー
- （7）言語転移
- （8）待遇表現
- （9）指標性
- （10）発話内行為

〔3〕 あなたが今後、研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つ挙げ、それぞれについて、各項目5から10行程度で、説明しなさい。

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程/一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 英語学専門分野 専門試験

【問題用紙は2枚あります。】
（1枚目／2枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。解答は日本語で行うこと。

I. 以下の用語のうちから5つを選んで、説明しなさい。

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| (1) polysemy | (6) stress/pitch accent |
| (2) fictive motion | (7) righthand head rule |
| (3) assimilation | (8) telicity |
| (4) constituent | (9) negative polarity items |
| (5) suffix | (10) (syntactic) movement |

II. 以下の英文の下線部を日本語に直しなさい。

A.

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。

[出典：Bas Aarts, Jill Bowie and Gergana Popova (eds.) (2020) *The Oxford Handbook of English Grammar*: Oxford. p.24, l.35-p.25, l. 5. 一部省略.]

B.

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。

[出典 Sandrine Zufferey (2015) *Acquiring Pragmatics*. Routledge: New York. p. 97, l. 25-p.98, l. 11.]

(2枚目／2枚中)

III. 以下の設問に日本語で答えなさい。

例文(1)にあるように、文末に *again* が生じる場合、それを含む文が二つの解釈 (解釈 1, 2) で曖昧であることがあります。一方、例文(2)は、解釈 1 のみが可能です。これらを考慮に入れて、例文(3)で解釈 2 が可能である理由を考察し、述べなさい。

(1) John closed the door again.

解釈 1 : John has performed the action of closing the door at least once before.

解釈 2 : John has brought it about that the door is again in a closed state, though he need not have closed it on any earlier occasion.

(2) a. John slept again. (解釈 1 のみ可能)

b. John kicked the door again. (解釈 1 のみ可能)

(3) a. The engine started, then stopped again. (解釈 2 が可能)

b. We mounted, then dismounted again. (解釈 2 が可能)

[出典 : David Dowty (1979) *Word Meaning and Montague Grammar*. Kluwer Academic Publishers: Dordrecht. p. 252. 及び D.A. Cruse (1986) *Lexical Semantics*. Cambridge University Press: Cambridge. pp.228-229.]

IV. 以下の日本語文の下線部を英語に直しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。

[出典 : 稲木昭子、堀田知子、沖田知子 (2002) 『新えいご・エイゴ・英語学』 東京 : 松柏社. 126 頁 24 行～127 頁 8 行. 一部省略.]

令和3（2021）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 美学・文芸学専門分野（美学受験分野）専門試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目/2枚中）

以下すべての問いに日本語で答えなさい。

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

（配点30点）

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1) 環境美学 | 2) アリストパネス | 3) トンコリ |
| 4) 近松門左衛門 | 5) 故宫博物院 | 6) システィーナ礼拝堂 |

問2 美学上の問題をめぐって対立する見解を2つあげて、比較を行い、結論を導きなさい。第1段落でまず何が問題なのかを明らかにし、第2段落でその問題にたいするA氏の見解を紹介し、第3段落でその考えに対立するB氏の見解を紹介して、第4段落において自分の見解を述べなさい。文章の長さは問わないが、自分の研究に関係の深い問題を取り上げて論じること。（配点60点）

次のページにも設問があります。

(2 枚目 / 2 枚中)

問3 下記の英文を読んで以下の問題に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

出典： Boris Groys, "Politics of Installation", in: *e-flux Journal* #2 (January 2009).

- (1) 下線部①のような見解がしばしば示される理由について説明しなさい。そのさいに、芸術ジャンルとしての「インスタレーション」の特性を述べた上で、その特性にもとづいて説明すること。(配点 20 点)
- (2) 下線部②はどのような事態を指すのかについて、キュレーターによる展示と対比しつつ説明しなさい。また、下線部②が指す事態は否定されるべきか、肯定されるべきかについて、あなたの考えを述べなさい。(配点 20 点)
- (3) 芸術の展示は現在どのように変化しつつあるか、また近い将来どのように変化するかについて、あなたが主要な傾向と考えるものを取りあげて説明しなさい。(配点 20 点)

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 音楽学・演劇学 専門分野（音楽学 受験分野）
専門試験
〔問題用紙は別紙を含め3枚です。〕
（1枚目/3枚中）

以下の問1～3について、解答用紙に「問1」「問2」「問3」と記入した上で、解答しなさい。

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。〔配点30点〕

- | | |
|----------|--------------|
| 1) 環境美学 | 2) アリストパネス |
| 3) トンコリ | 4) 近松門左衛門 |
| 5) 故宮博物院 | 6) システィーナ礼拝堂 |

問2 別紙Aに掲げる英文（注13を含む）を日本語に訳しなさい。文中の32 g、33 cなどはハイドンの鍵盤楽器ソナタの番号とその調性（大文字は長調、小文字は短調）を表しており、したがってそれぞれ「ソナタ第32番ト短調」「ソナタ第33番ハ短調」となります。〔出典：L. Somfai, *The Keyboard Sonatas of Joseph Haydn*, The University of Chicago Press, 1995. p. 247, l. 27–39, n. 13, with ex. 110 on p. 250.〕〔配点60点〕

問3 別紙Bに掲げる文章を読んで、以下の問いに答えなさい。〔出典：大谷能生『平成日本の音楽の教科書』新曜社、2019年、146頁11行～147頁14行〕〔配点60点〕

- (1) ここで「ポピュラー邦楽」と呼ばれているものについて、あなたが知っている具体的な種目と曲目を1つ以上挙げ、その特徴を述べなさい。
- (2) 傍線部について、ここで「省略」されている「複数の理由」として考えられることを具体的に挙げながら、この「断絶」についてのあなたの考えを述べなさい。

(2 枚目/3 枚中)

別紙A

引用文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

(3 枚目/3 枚中)

別紙B

引用文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和3年(2020)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 音楽学・演劇学専門分野 (演劇学受験分野) 専門試験
[問題用紙は3枚です。]
(1枚目/3枚中)

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度の日本語で説明しなさい。

- 1) 環境美学
- 2) アリストパネス
- 3) トンコリ
- 4) 近松門左衛門
- 5) 故宫博物院
- 6) システィーナ礼拝堂

問2 問題用紙3枚目の英文は、Maria Shevtsova, *Rediscovering Stanislavsky*, Cambridge University Press, 2020, p.7, line 16~ p.8, line 7の文章で、モスクワ芸術座について述べているところです。この文章を読み、以下の設問に日本語で答えなさい。なお、文中のMATとは、モスクワ芸術座の略称です。(字数自由)

- (1) ここで述べられている「アンサンブルの劇場」の意味合いを詳しく説明しなさい。
- (2) スタニスラフスキイがモスクワ芸術座で演出した上演作品の中には劇作家チェーホフの作品がありましたが、その演出の特徴を具体的にこの文章に即して説明しなさい。
- (3) 「スタニスラフスキイ・システム」について説明しなさい。

問3 次の文章は、三島由紀夫とテネシー・ウィリアムズとの対談の一部です(「劇作家のみたニッポン」初出『芸術新潮』昭和34年11月、初刊「源泉の感情」河出書房新社、昭和45年10月、出典『決定版三島由紀夫全集』39、新潮社2004年、329頁、上段2~16行目)。この文章を読み、以下の設問に日本語で答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は上記のとおりです。

(2枚目/3枚中)

- (1) 傍線部アに、「歌舞伎の演出で、客席の中の通路から俳優が登場したりする」とありますが、この通路は歌舞伎の専門用語では、何と呼ばれていますか。
- (2) 『欲望という名の電車』について、その内容を説明しなさい。
- (3) 傍線部イに、「この演出方式はニューヨークではあまり受けなかった」とありますが、歌舞伎においてこの演出はどのような効果を生み出していますか。自分の考えを述べなさい。

(3枚目/3枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Maria Shevtsova, *Rediscovering Stanislavsky*, Cambridge University Press, 2020, p.7,
line 16~ p.8, line 7

令和3（2021）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 美術史学専門分野（日本・東洋美術史受験分野）専門試験

[問題用紙は別紙を含め4枚あります。]

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

[配点30点]

- 1) 環境美学
- 2) アリストパネス
- 3) トンコリ
- 4) 近松門左衛門
- 5) 故宮博物院
- 6) システイーナ礼拝堂

問2 別紙1は西川祐信画、伝北条時頼詠歌『絵本池の心』（1739年刊 三冊 個人蔵）の一部です。各図上部の歌を翻刻しなさい。[配点20点]

問3 別紙2の問題に答えなさい。[配点40点]

問4 別紙3は雪村周継筆「呂洞賓図」（16世紀 紙本墨画 一幅 119.2cm×59.6cm 大和文華館蔵）です。構図や表現の特色を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの絵の魅力について述べなさい。
[配点60点]

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

問題

次の文は『大日本仏教全書』所収の『六角堂縁起』（底本は醍醐寺本『諸寺縁起集』とみられる）の全文です。これについて後の設問に答えなさい。

文は著作権等に配慮し、掲載を省略します。抜粋箇所は『大日本仏教全書』巻第一一七、『六角堂縁起』（一二九頁）です。

注記 ㊦は底本においてその前の文字に傍注があることをしめす。

語注 ①鑲…くさり ②樾…木陰 ③侄…留まる

設問一 文中から、如意輪観音と老嫗が聖徳太子に告げている部分をそれぞれ書き下し文にして抜き出しなさい。

設問二 最終行の「靈験殊勝也」の理由となった平安遷都時の逸話のあらましを記しなさい。

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

令和3（2021）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 美術史学専門分野 （西洋美術史受験分野） 専門試験

〔問題用紙は3枚です。〕

（1枚目/3枚中）

問1 以下の用語の内3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。〔配点30点〕

1) 環境美学

2) アリストパネス

3) トンコリ

4) 近松門左衛門

5) 故宮博物院

6) システィーナ礼拝堂

問2 問題用紙2枚目の英文を読み、全文を日本語に直しなさい。〔配点60点〕

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Miwon Kwon, *One Place after Another. Site-Specific Art and Locational Identity*, Cambridge, MA.: The MIT Press, 2004: p.1/l.2-p.12/l.23（脚注省略）

問3 問題用紙3枚目のA、B二点の彫刻作品について、その様式などの特徴からそれぞれの制作時期、地域、作者を推測し、その推測の根拠を的確な言葉で詳述してください。また、二点の作品の関係について推測できる所見を述べてください。（作品の主題、素材、サイズなどについては記載しませんので自身で推測してください）〔配点60点〕

著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

A. A Carved Marble Figure of Hebe

After Bertel Thorvaldsen, Probably Danish, First Quarter of 19th Century

B. Bertel Thorvaldsen, *Hebe*, 1815, Thorvaldsen Museum